



ペヤング、虫1匹に巨額代償

カップ焼きそば「ペヤングソース焼きそば」が全国から一斉に姿を消した。原因は商品混入を指摘された1匹の虫。製造する「まるか食品」は全商品を自主回収し、生産を全面停止。数十億円かけて設備の刷新も検討しており、周囲から「そこまでやるのか」と驚きの声も漏れる。年間売上高約80億円の中堅企業にとって負担は重い。まるか食品はなぜ、これほどの「代償」を払うことにしたのか。そして耐えられるのか。

生産が止まった本社工場と赤堀工場（いずれも群馬県伊勢崎市）にトラックは普段と同じように出入りしている。ただし、商品が出荷されるのではなく、流通業者から返品されたペヤング入り段ボール箱が工場内に積み上がっていく。同県を地盤とするスーパー、フレッシュの担当者は「カップ焼きそば全体の売り上げが落ちてきた」と懸念する。

ネットの世界では店頭で手に入らなくなったペヤングの人氣が顕著だ。ヤフーオークションではペヤングの出品が相次ぐ。ネットでは「ヤミ米」をもじって「ヤミペヤング」と呼ばれ、店頭価格の3～4倍で落札する愛好家もいる。

初動のまずさが響く

まるか食品によると、設備の刷新には「2ケタ億円はかかる」。生産停止中の機会損失、返品費用など一連の負担は数十億円に達する見込みだ。ただ、虫1匹でここまで追い込まれた一因は、まるか食品の初動のまずさにもある。

始まりは商品購入者によるツイッターへの書き込み。麺にゴキブリの



ペヤング生産停止は地元経済にも微妙な影を落す（群馬県伊勢崎市のまるか食品本社）

鶴の一声で生産全面停止

ような虫がからまっているように見える写真は衝撃的で、ネット上で大きな話題になった。

購入者とのやりとりがネットで公開されると「対応がなっていない」とネットで炎上。この事態を受け、まるか食品は一部回収を決めたが、外部機関の検査によって「製造過程で混入した可能性は否定できない」となり、全面回収に。「回収が遅れたことは事実」と同社も認めるほど対応が後手に回り、イメージ悪化に歯止めがかからなくなっていた。そこに出てきたのが「生産全面停止・設備刷新」の経営判断だった。

関係者によると、当初、社内では早期の生産再開を探っていたが、社長である丸橋嘉一の鶴の一声で決まったという。丸橋率いる、まるか食品はどんな企業なのか。

地元の経済界関係者によると「丸橋社長の個人商店」。社名にもオーナー色が投影されている。現社長の祖父である嘉蔵が1929年に創業。姓と名から1文字ずつ（丸、嘉）とつ

て、「まるか食品」と名付けた。

「ペヤングソース焼きそば」を発売した75年以降、成長軌道にのる。ペヤングの商品名は「若い（ヤング）ペアと一緒に食べる気軽な食品に」という思いが込められているという。当時は珍しかった四角い容器。液体ソースを使いあっさり、まろやかな味が特徴。「四角い顔」のタレントを使ったCMも当たった。

大手を上回る利益率

数十億円の負担は相当に重く見えるが、地元の金融機関などは意外にも「経営が傾くようなことはないだろう」とみる。実質無借金経営で財務体質は強いという。民間信用調査機関のデータによると、利益率（純利益ベース）は約12%と日清食品、東洋水産の即席麺2大メーカーのはるか上を行く高収益体質だ。

ただ、周囲から聞こえてくるのは「よくわからない会社」という声。2003年就任の3代目社長で49歳の丸橋は地元経済界の活動に熱心ではな

電子版 セレクション

く、商工会議所などの会合にもほとんど顔を出したことがないという。

独特の経営方針、周囲の評判から浮かび上がるのは「我が道を行く」企業像。今回これほど大きな騒ぎになったにもかかわらず、丸橋が記者会見を開くこともなく、担当者が1人で対応するだけ。周辺からは「危機管理が不十分では」といった指摘も出てくるのも無理はない。

同業メーカーからも同情の声はあまり聞こえてこない。ある大手メーカー担当者は「（虫混入は）普通はありえない。生産ラインが老朽化しているのではないか」という。

まるか食品も無策だったわけではない。工場内に約30台のカメラを設置。金属探知機やX線、商品の重さを検査するなど何重にもチェックしていた。今後は容器に異物が入らないよう、大手と同じようにフタをシールで密閉することも検討する。

店頭では「ペヤングのない風景」が常態化しつつある。先週はスーパーの棚にはペヤングの抜けた空間が目立っていたが、すでに別のブランドのカップ焼きそばが並んでいる。

棚の取り合いが激しいコンビニやスーパーでは「一度棚を失うと取り戻すのは難しい」といわれる。マイナスイメージを背負ったペヤングが元の場所を取り戻せるだろうか。

＝敬称略

（前橋支局長 鈴木禎央）

全文を電子版に▶ビジネスリーダー→コンフィデンシャル→スペシャルレポート